

広報

ひとまち 自然がきらめく 共生の郷 佐用



8

2010
月号

No. 59

子どもの目で集落を点検

福沢集落では防災意識の向上を図るため、集落役員の皆さんと子どもたちがいっしょに集落内を歩き、危険箇所を確認しました（関連記事 15頁）。



主な内容 ● Contents

- 災害に強いまちをつくる
歩き続ける 佐用町 2 ~ 9
- 被災乗り越えつんだ日本一 10
- FLASH NEWS (まちの話題) 14 ~ 15

絆からはじまるふるさとへの復興



歩き続ける佐用町

自主防災

自助
共助

まずは必要性の認識を

地域防災最初の一步は、地域でその必要性を確認すること。海内地域づくり協議会は7月6日、NPO法人ひょうご地域防災サポート隊の阿山耕三さんを講師に、若杉館で研修会を開き、防災の地域づくりに向けた第一歩を踏み出しました。その内容をお伝えします。

阿山さんは、気象庁のデータをもとに、豪雨発生状況をここ10年間（平成10年〜平成19年）と、20年前を比較。そして時間雨量50ミリの超える大雨は、約1.5倍から2.1倍に増加している現状を訴えました。また平成20年までは、ヒートアイランド（都市部の気温

「日本全体が、亜熱帯の気候に近づいています」。近年、全国的に局地的豪雨が多発している現状から、阿山さんは会場に集まった約70人の参加者に語りました。

季節に関係なく 起こる集中豪雨

が郊外部に比べて異常な高温を示す）現象で特に都市部での豪雨災害が多発する傾向にあります。最近はその現象と無縁の農山村でも集中豪雨が増加していることを話しました。また昨年の11月に洲本市や南あわじ市で発生した豪雨（11月観測史上最大）を例に、日本は季節に関係なく、いつでも、どこでも局地的集中豪雨が発生する危険な状況であることを示しました。

谷あいの集落に

安全な所は少ない

豪雨の怖さは、水害だけで

はありません。雨で緩んだ地盤は、大規模な土石流、土砂災害を引き起こします。

「谷あいに広がる集落で、残念ながら安全な場所が少ないのが実態です」。そう話しながら、阿山さんは兵庫県が作成した海内地域のハザードマップ（土石流・山腹崩壊などの危険箇所を示した地図）を紹介しました。

そのマップを見て「うちの集落、全滅やな」「うちともあかんわ」などともらす参加者の皆さん。阿山さんの具体的なお話から、会場の皆さんは危機感を高めると同時に、災害への備えの必要性



NPO法人ひょうご地域防災サポート隊

阿山耕三さん（あやま・こうぞう）

地域の防災活動を支援するため、平成18年に設立した特定非営利法人。阪神淡路大震災などの経験を踏まえ、自治会などを対象に災害行動計画づくりの支援活動を展開中。阿山さんは昨年11月、利神小学校区の4つの地域づくり協議会主催の防災研修会で、講師も務める。



熱心に聴講する海内地域の皆さん

を共感していました。

「防災施設を補完する 地域住民の主体性」

「施設整備での防災対策は、限界にきています」とはつきりと言いつける阿山さん。

災害列島の日本では、かねてから災害に強い国土をつくることに力が注がれてきました。すなわち、公共事業によるハード整備です。

しかし、その効果を補完し、また最大限に引き出すには「地域住民の主体的な取り組みが不可欠」と阿山さんは語気を強めました。

これまで全国各地の自然災害の検証から導きだされた「災害に強い地域をつくる」ため最も重要な結論。それは「自助と共助」と話しながら、阿山さんは「公助」の限界をにじませました。

普段できていないことは 緊急時に絶対できない

全国では、数々の自主防災組織が組織され、個人、家庭、隣保、集落など、地域の防災

力を高めるため、様々な主体的な取り組みが行われていきます。自主防災組織の力を向上させるためには「地域の誇りを大切にし、子どもや高齢者にやさしく、お互いに支える仕組みがあることが重要」と普段からのコミュニケーション活動の大切さを話す阿山さん。

そして、お互いの絆を深めるコミュニケーション活動の一環として、防災訓練などを交えながら災害時の行動計画、地域防災マップの作成を勧めました。また「普段やっていても緊急時には、なかなかできない。普段できていないことは、緊急時には絶対できません」と断言しながら、防災訓練を繰り返し実践することの必要性を語りました。

最後に「地域ができる災害への備え。それは、自主的な自助・共助の意識で災害に立ち向かうことです。皆さんの健闘を祈ります」と、約70人の参加者に激励のメッセージを送りました。

※今回の阿山さんの講義は、**8月13日（金）から2週間、佐用チャンネルで放映されます。ぜひご覧ください。**

プロセス共有の 大切さを学ぶ

石井地域づくり協議会が
多可町中村町を視察

石井地域づくり協議会の役員約30人が7月10日、広報7月号でご紹介した多可町中村町へ研修に向きました。

この視察研修は同協議会の防災力向上への取り組みのきっかけとして行われたものです。

参加した同協議会の皆さんは、中村町コミュニティセンターにおいて、中村町防災委員会の皆さんから、防災行動計画作成までのプロセスと、計画完成後の様々な取り組みを学び、プロセス共有の大切さを感じていました。



中村町での研修のようす

11月に
工事着手

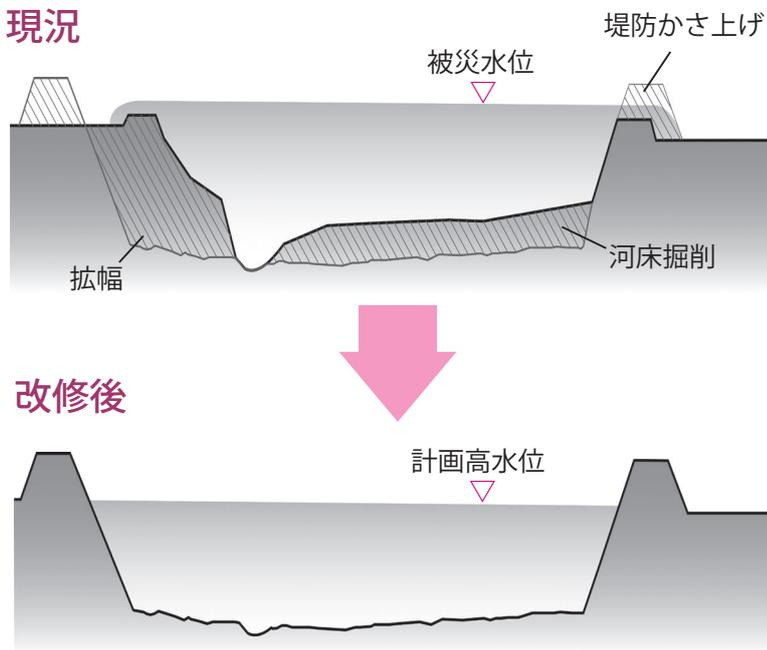
公助

拡幅・河床掘削・堤防かさ上げ

5か年459億円の河川改修

災害に強いまちをつくるためには、地域の防災力を高めるソフト事業とともに、安全で安心な生活基盤を整備するハード事業が不可欠です。現在町では、兵庫県と連携し、大規模な河川改修事業の準備を進めています。

改修のイメージ



場所に応じて3つの組み合わせで工事を行うことで、河川水位の低下が見込まれます

昨年8月の台風9号による集中豪雨は、雨量・被害とも佐用町で過去最大となりました。そのため兵庫県は、千種川水系の河川改修を平成21年度から25年度の5か年かけて実施します。今回の改修河川は、5つのイラストのとおりで、総延長は54・59キロ。2月から流域の集落で説明会を進めており、11月から本格的な工事に着手します。

- 事業費は、次のとおりです。
 - ① 災害復旧助成事業 (約300億円)
 - ② 災害関連事業 (約21億円)
 - ③ 災害復旧等関連緊急事業 (約138億円)
- 問 光都土木事務所河川復興室
☎ 82・2045
- 問 建設課河川復興事業推進室
☎ 82・2019

6月1日の業務開始前、集中豪雨を想定して町職員の防災訓練を行いました。これは大雨シーズンを前に、本部長として迅速で適切な行動がとれるように、日ごろから慣れておくために行ったものです。

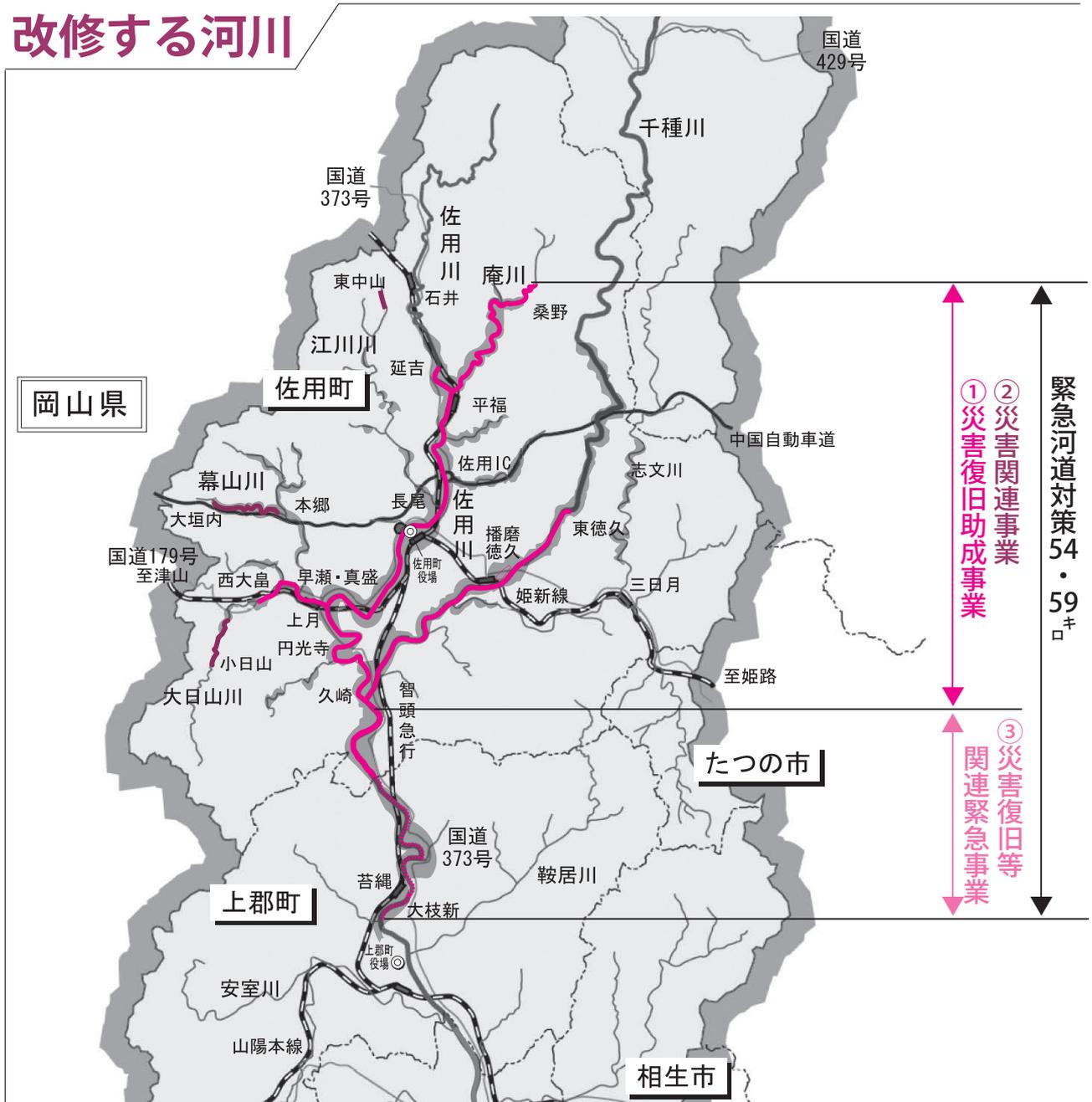
朝5時に集中豪雨が発生したものと想定して、災害警戒本部や災害対策本部を順次設置し、町職員が本部に次々と参集。そして仮想被災状況を、町職員が被災者となって同本部に電話をかけるなど、本番さながらの電話対応や情報収集を実施し、応急対応、また広報活動など一連の行動を

役場内で防災訓練 災害を想定し シミュレーション



真剣に訓練に取り組む町職員

改修する河川



町職員に熱弁をふるう 齋藤さん



実践的危機管理20の視点
齋藤 富雄 理事長

町職員の防災意識のさらなる向上と、実践的な危機管理能力を強化するため、7月9日の業務終了後、町職員対象の研修会を開催しました。講師には、町災害検証委員会副委員長の齋藤富雄さんをお招きし「実践的危機管理20の視点」の講義を受けました。齋藤さんは、職員意識の向上こそが、防災体制の強化につながることを訴えました。

講師を招き町職員の研修会 「人こそ宝、人こそ防災」

確認しました。今後も引き続き同様の訓練を実施し、災害時に備えるとともに、役場と地域が連携した訓練も行っていく予定です。

災害対策本部体制の改善への提言

提言1 地域防災計画・水防計画の見直しと職員活動マニュアルの整備が必要である。

災害の教訓を今後の災害対応に活かすため、今回の災害対応の検証に基づき対応記録等の整理・分析を行い、地域防災計画や水防計画を実践的なものに見直し必要がある。

また、地域防災計画や水防計画に基づき災害時に各職員が的確に対応できるように、各部、班の所掌を明確にしておくことはもちろんのこと、従事する職員が行うべき業務の内容、手順等を具体的に示した活動マニュアルの整備が必要である。

提言5

地域の情報を収集する住民による「災害」を検討する必要がある。

合併によって広がった町域の各地域の被害モニター（仮称）を設置するなど、システムの構築を検討する必要がある。また、各地域対策部から専用回線

災害検証

共助
自助
公助

台風9号災害の検証が終了 90の「教訓」まとまる

今後の防災対策の充実をめざして、町災害検証委員会が行っていた台風9号災害の検証が終わり、最終報告書がまとまりました。町はこの報告書をもとに、さらなる防災体制の強化をめざします。

30回以上の 分析会議を経て

最終の災害検証委員会が7月16日、さよう文化情報センターで開催されました。今回の会議では、これまでの検証結果をまとめた最終報告書が、室崎益輝委員長から庵澄町長に提出されました。

同委員会は1月26日に発足。これまで6回の会議を行ったほか、会議の間をぬって、現地調査、聴き取りなどを実施し、検証分野ごとに調査・分析を行うワーキング部会が30回以上も重ねられてきました。

そして今回まとめられた提言は、あらゆる分野から90項目にのぼります。

実践的なルール に基づく行動を

同委員会がまとめた最終報告書の基本の考え方は、大きく次の4点です。

① 住民の視点に立った防災対策

行政は、自らが行う災害対応が、住民に対しどんな影響を与えるか十分考慮し、住民視点に立った災害対応を行う必要がある。

また、住民一人ひとりが自分で判断し、状況に適切な安全な行動ができるよう防災に関する知識を高める

委員会の最後に、室崎委員長から庵澄町長に、最終報告書が提出されました（7月16日・さよう文化情報センター）



最終報告書 提言のあらまし

※項目末尾の数字は、提言の数です。

災害対策本部体制・関係機関との連携

- 災害対策本部体制の改善への提言・・・⑩
- 平時の防災体制の改善への提言・・・④
- 防災拠点施設の改善への提言・・・⑤
- 消防団の体制・活動の改善への提言・・・②
- 自主防災組織の体制・活動の改善への提言・・・③
- 防災関係機関相互の情報共有の改善への提言・・・②
- 広域応援体制の改善への提言・・・⑤
- 防災資機材の備蓄の改善への提言・・・④
- 義援金・支援物資の対応の改善への提言・・・⑤
- 町からの避難勧告などの発信の改善への提言・・・⑨

災害情報の伝達・避難の実施など

- 町からの避難勧告などの発信の改善への提言・・・③
- 地域における情報伝達の改善への提言・・・⑦
- 地域における住民の避難行動の改善への提言・・・⑥
- 災害時要援護者への支援の改善への提言・・・⑥
- 自動車移動者への情報伝達と誘導の改善への提言・・・⑤
- 避難所の設置・運営の改善への提言・・・⑥

災害救援ボランティア活動の支援体制

- 町と町社会福祉協議会による災害ボランティアセンターの開設・運営、およびこれに対する応援の体制の改善への提言・・・④
- 災害ボランティアセンターの運営と福祉支援活動との関係改善への提言・・・②
- その他の被災者支援活動などの改善への提言・・・②

災害の様々なデータの収集・分析や現地調査、議論を重ね完成した最終報告書（写真右）。

90の提言は、佐用町公式ホームページ（<http://www.town.sayo.lg.jp/>）で見ることができます。

とともに、身近なハザードマップづくりや訓練などに取り組めるよう、町は必要な支援を行い、それぞれが担うべき役割を十分認識しなければならぬ。

② 実践的なルールを策定し 着実に実行

情報収集・分析など職員個々の行動指針の整備とともに、職員配備計画、避難情報の発信など、実践的なルールづくりが必要。また災害対応は、ルールに従い着実に実行する。そ

の上で、町と地域が連携した実践的な訓練を繰り返すことが必要である。

③ 迅速・確実に情報を伝達し、活用する

町は地域の防災活動を支援するため、気象や河川水位などの情報を的確に多様な手段で伝達する一方、地域は被災状況などを町に伝える必要がある。町はその情報を活用し、関係機関との連携を図る必要がある。

④ 防災人材の育成など、平

時から防災力向上への取り組みが重要

防災力向上には、平時からの取り組みが重要。町の防災体制の充実強化に加え、研修・訓練で専門知識、判断力を高め、町防災を担う人材を養成するとともに、地域の防災リーダーの育成に努めなければならない。

提言を教訓に

災害に強いまちをめざす

自然災害は、無くすこと

はできません。しかし、町や地域社会、住民の皆さんの力によって、被害を最小限に食い止めることは可能です。

提言の中には、取り組みに一定の期間を必要とするものもありますが、直ちに改善できるものは早急に着手し、町の防災体制の強化とともに、地域の防災力の向上に努めます。

問 企画防災課復興企画室

☎ 82・2460

要援護者を
地域で守る

共助

支え合いマップを作り減災へ プロセスの共有が最大のポイント



支え合いネットが 減災へつながる

災害の発生と拡大を防止するためには、自分たちの住んでいる地域が災害に対して、どのような弱点があるのか、具体的に把握しておくことが大切です。

そのためには、集落や隣保単位で子どもや高齢者、障がいのあるかたなどを含めたみんなが参加し、自分たちのまちを実際に調べて、地震・風水害・大規模火災などの発生を想定し、被災するとどのような状況になるかを予測しておく必要があります。

大規模災害時には初動が重要で、地域住民の共助が大切な命や財産を守ることにつながります。平時から「安否確認・避難支援登録シート」で災害時の支援を希望したかたには、自治会長や民生委員・児童委員などの皆さんが家庭訪問をして、詳細な聴き取りを行いましょ。そして、日ごろから要援護者と関わりがあつて本人が手助けを望む人を複数決め、双方の同意を得

て『支援者』として登録するなど、住民によるネットワークづくりを進めましょ。

このマニュアルがご入用の自治会や地域づくり協議会には、お気軽にご連絡ください。

「絵に描いたもち」にならないために

マップづくりは、それを作りあげることも大きな目的です。しかし何より大切なことは、集落や地域づくり協議会などで、できるだけ多くの人が携わる中で、時間をかけて作り上げることです。

その「作成プロセス」をより多くの人たちで共有することが、一人ひとりの防災意識の向上や、専門知識の習得につながり、地域防災力向上への大きな原動力になります。「作成プロセス」を省略した取り組みは、仮に完成しても「絵に描いたもち」となります。そのことを念頭に、みんなであせらず取り組みましょ。

問 企画防災課まちづくり防災室

☎ 82・0664

靴ひもをしっ かり結んで

進むべき道は一つ

平成17年10月に産声をあげた佐用町。地域に息づく歴史と文化を生かしながら、住民・行政が互いに手をとりあい、佐用町は歩んできました。しかし昨年8月9日、悪夢のような大水害に見舞われ、あまりの痛手に、その歩みを一旦は止めざるを得ませんでした。

その後、佐用町は復旧の厳しい道のりを少しずつ歩み続けてきました。その支えとなったのが、全国からの温かい支援でした。

水害を風化させず、後世に永く語り伝えること。つらく悲しい経験から得た教訓を生かし、真に災害に強いまちづくりを進め、以前より輝く佐用町へ復興を遂げること。それが、支援して下さった皆さんにこたえる、佐用町の唯一の道です。

今も町内の各地には、水害の爪あとが数多く残っています。同様に、被災した皆さんが負った心の傷も、まだ完全に癒えていません。

「お互いに助け合い、支え合って生きる」。共にねぎらいながら、みんなで歩調を合わせて前進するには、先人から引き継いできた温かい地域コミュニティ「絆」^{きずな}の力が不可欠です。

あの日から、間もなく一年を迎えます。この節目に、靴ひもをしっかり結び、決意したい。災害に強いまちづくりを、その先にある「復興を遂げた佐用町」をめざし、歩き続けることを。もう二度と、歩みを止めることがないように。一步一步、足取りをしっかり確認しながら……。

●災害に強いまちをつくる

歩き続ける佐用町（終わり）

「一陽来復」の願い刀に込める
被災乗り越えつかんだ
日本一



**9年連続入賞
2度目の日本一**

実家の家内の鍛刀場で、精力的に美術刀剣の創作活動を行う高見國一さんが、今年の新作名刀展（日本美術刀剣保存協会主催）で、日本一の「日本美術刀剣保存協会会長賞」に輝きました。高見さんが日本一に輝くのは、平成19年に続き2度目。また同展には平成14年の初入賞をきっかけに、9年連続の入賞を遂げています。

刀匠 高見 國一 さん

昭和48年生まれ、37歳。平成4年、刀匠の河内國平師に入門。同師の一番弟子。その後柳村仙寿師から刀身彫を、また国選定保存技術である「日刀保たたら」を学び、刀づくりの基礎を学ぶ。平成10年、文化庁から美術刀剣類製作承認を受け、同年新作名刀展に初出品、平成13年まで入選。平成11年に、念願の「高見國一鍛刀場」を佐用町家内に設立。平成14年以降も、新作名刀展で毎年入賞を続け、平成19年に続き今年、日本一に輝く。

- 写真上：刀を鍛える高見さん
- 写真下：日本一に輝いた刀

高見さんは「昨年の水害を乗り越えての栄誉。心から喜んでいきます」と満面の笑みを浮かべていました。

水害にあうが「あきらめない」

昨年8月の集中豪雨で、鍛刀場も、浸水による大きな被害を受けました。その後、土間の掃除や道具の修繕に、およそ3か月を費やしました。結果、いつもは9月ごろから刀づくりに取り組みますが、復旧に時間がかかり、今回は11月中ご



作刀の部「太刀刀 脇指 種刀 槍の部」
「日本美術刀剣保存協会会長賞」
刀 銘 勝手 國平師 高見國一作之 長峯 高見 國一 良
長 75.5 ㎝

ろからとなりました。「周りからは、『今年は出品できなくても仕方ない』と言われました。でも、あきらめませんでした」と当時を振り返る高見さん。

そして水に浸かって使い勝手の変わった道具を駆使し、大急ぎで6振りを作成。1振りには満足できるものが出来上がり、同展に出品しました。

**長い冬が終わり
温かい春を願った**

審査員から豪壮で華やか

な刀と評された作品は、全長75.5㎝。刀銘には「一陽来復」と刻まれています。この言葉は「物事が好転する」「長い冬が終わり、暖かい春が来る」などの意味があります。「水害でダメージを受けたましたが、逆境を乗り越えたいとの思いを込めました」と目を細める高見さん。さらに「今回の受賞は大きな励みとなりました。今後も、自らの目標である『無鑑査刀匠』をめざしたい」と力を込めて語っていました。



ツアー参加者に平福地域を説明する黒川さん（写真右）

混成ボランティア「チーム神戸」 佐用町へ復興ツアーを実施

「復興支援の一助になれば」

昨年8月の災害直後から今年1月末まで、カトリック佐用教会を拠点に被災者支援活動が続けたチーム神戸（代表＝金田真須美さん）が6月19日、佐用町のツアーを実施し、京阪神から約40人が参加しました。

このツアーは、佐用町の防災と復興を考えるために行われたもの。参加者の皆さんは昼間、平福地域で黒川恵準さん（平福中町）から地域の歴史を学んだ後、船越地内にある町昆虫館で復旧過程などの説明を受けました。

また車窓から見える風景から、金田代表が被災直後の状況説明を行い、これまでの復興状況を確認しました。そしてツアーの最後は、三日月地域で幻想的なホタルの乱舞を観賞しました。

金田代表は「佐用町には、町民の皆さんも気がついていない多くの魅力があります。今後も季節に応じて佐用町の魅力を発信したい。そしてわずかですが佐用町復興の一助になれば幸いです」と話していました。

●伝えたい 「感謝」の気持ち

「佐用町感謝のつどい」



佐用町の復興を支援して下さった人たちに感謝の気持ちを伝えるための催しです。ぜひご参加ください。

開催日

8月29日(日)

内容・場所・時間

ふれあい喫茶

- 会場 さよう文化情報センター（佐用）
地域福祉センター（平福）
上月支所（上月）
久崎地区センター（久崎）
- 時間 午前10時～正午

ラジオ関西公開生放送

- 会場 さよう文化情報センター
- 時間 正午～午後1時

おりひめ文化ホール内のイベント

- ①佐用高校生による感謝のメッセージ
- 時間 午後12時40分～
- ②心の絆コンサート in さよう
- 時間 午後1時～午後2時30分

特産品販売・飲食コーナー

- 会場 さよう文化情報センター周辺
- 時間 午前11時～午後3時

くわしくは広報さよう8月号号と同時配布のチラシをご覧ください。

問 企画防災課復興企画室 ☎82-2460

佐用
チャンネル

商店・商品の
コマースィアル募集

町商工会では、佐用チャンネルを利用し、商工業の活性化と住民サービスの向上を図るため、商工会情報番組「商工会まいどテレビ」を放送しています。ついではこの番組内でのコマースィアルを募集いたします。事業所CM、商品・サービス紹介、求人広告、キャンペーン告知などにご利用ください。

■放送枠 動画広告30秒
文字広告15秒

■費用

【商工会会員】

動画広告10、500円

文字広告 5、250円

※CMの作成を商工会に

依頼する場合は別途製作費が必要です。

会員以外のかたも利用できます。ただし料金が異なりますので、くわしくは商工会事務局へお問い合わせください。

問 町商工会事務局

☎82・2218

西播磨地区
消防操法大会

三日月第3分団が町の代表として出場 日々磨いた操法技術を披露



指揮者から1番員へ、筒先員交替の場面。体を密着させ、迅速に確実に、そして安全に行わなければならない緊張の一瞬（7月2日・最終練習）

7月4日、播磨科学公園都市の木戸口公園で、西播磨地区消防操法大会が開催され、佐用町消防団の代表として三日月第3分団が出場しました。同分団は4月18日に開催された町消防団三日月支団大会、5月16日に行われた町大会を見事勝ち進み、西播磨大会への出場切符を手に入れました。

西播磨大会に挑むため、町大会終了直後の5月31日から7月2日まで13回の練習をこなしました。毎回午後8時から午後10時まで、何度も何度も練習をかさねて、チームワークと個々の技術を磨いてきました。

西播磨大会は、たつの市、相生市、赤穂市、宍粟市、上郡町、太子町から参加し、それぞれ市町の大会を勝ち抜いてきた強豪ばかり。小型ポンプの部には6チームが出場し、お互いの技術を競い合いました。

結果は、残念ながら入勝は逃したものの、参加した西播磨の多くの消防団員の前で、安全で、迅速・確実な素晴らしい操法演技を披露しました

■出場選手（敬称略）

- 指揮者 竹内 眞也
- 1番員 廣利 哲
- 2番員 小笹 和彦
- 3番員 西川 典男
- 補助員 鎌本 淳一



● やったぜ!! 優勝・準優勝

佐用ミニバスケットボール教室（男子）

がんばった人たちに
みんなのスポーツ
(敬称略)

佐用
スターズ
選手たちの熱い思いで
ダブルで準優勝

第32回佐用町卓球大会

■開催日 6月20日(日)

■場所 上月体育館

一般男子の部

- 優勝 小寺康正(佐用高校)
- 準優勝 松阪 純(佐用高校)
- 第3位 福原将人(SC21 三河)
- 第3位 小椋雄貴(SC21 三河)

一般女子の部

- 優勝 井上愛夢美(SC21 三河)
- 準優勝 前原史歩(佐用高校)
- 第3位 牛丸瑛礼奈(佐用高校)
- 第3位 後藤希実(佐用高校)

中学男子の部

- 優勝 小椋智哉(SC21 三河)
- 準優勝 松井諒太(SC21 三河)
- 第3位 丸山和輝(上津中)
- 第3位 杉山 諒(SC21 三河)

中学女子の部

- 優勝 竹野香菜(SC21 三河)
- 準優勝 近嶋奈月(SC21 三河)
- 第3位 春名芳香(SC21 三河)
- 第3位 保田理恵(SC21 三河)

小学生の部

- 優勝 渡邊あや(SC21 三河)
- 準優勝 藤本真也(三日月クラブ)
- 第3位 井戸里緒菜(SC21 三河)

男子ダブルス

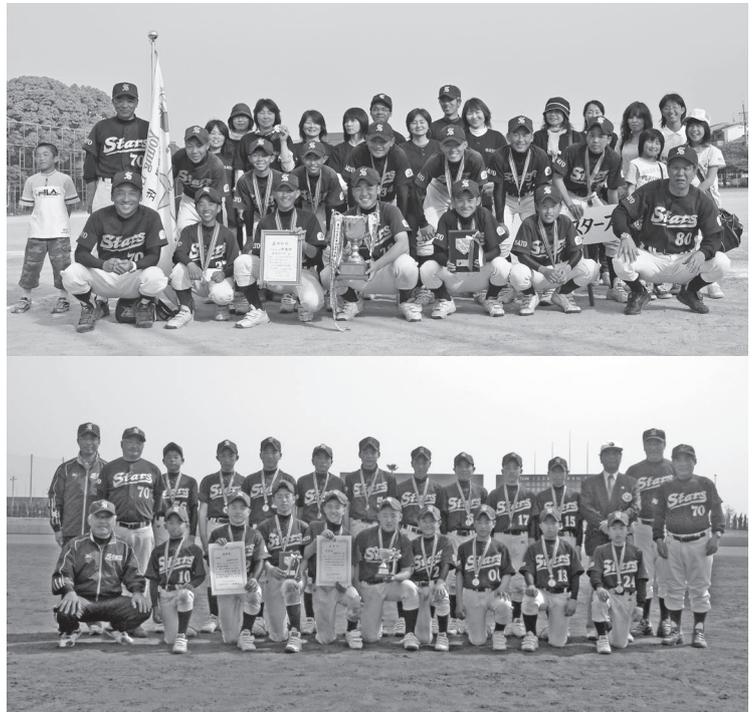
- 優勝 福原将人・野中 駿
(SC21 三河)
- 準優勝 大谷隆太・春名良樹
(SC21 三河)
- 第3位 松阪 純・丸山翔太
(佐用高校)
- 第3位 春名佑紀・志水雅俊
(SC21 三河)

女子ダブルス

- 優勝 前原史歩・真島利奈
(佐用高校)
- 準優勝 竹野香菜・井上愛夢美
(SC21 三河)
- 第3位 安東夏都美・春名優里香
(SC21 三河)
- 第3位 後藤希実・有田理加
(佐用高校)

毎年優秀な選手を世に送る硬式少年野球の強豪チーム「佐用スターズ」が、このほど行われた西日本大会の第37回泉大津大会(32チーム参加)と、関西大会の第8回淡路ジュニア大会(36チーム参加)で、そろって準優勝に輝きました。泉大津大会の決勝戦は兵庫タイガースに5対4で、また淡路ジュニア大会は神戸須磨クラブに4対3で惜しくも敗れましたが、大健闘しました。

チーム代表の北村正富さん(上町)は「子どもたちの熱意と努力の成果。またそれを支えた指導者や父母会、関係者の熱い声援のおかげです。これを機にさらに精進を重ね、上をめざすとともに、皆様のご支援をお願いします」と話していました。



泉大津大会で準優勝した選手たち(写真上)と淡路ジュニア大会で準優勝した選手たち(写真下)

6月26日・27日に、相生市民体育館で行われた西播地区ミニバスケットボール夏季大会で、佐用ミニバスケットボール教室(男子)が、4年生以下の部で優勝(写真右)、交歓男子の部で準優勝(写真左)と2つの快挙を成し遂げました。

同チームの20人の子どもたちは、毎週金曜日、佐用勤労者体育センターで熱心に練習に励んできました。その成果を発揮することができたと、子どもたちは大喜びでした。

指導者の一人である留田剛志さん(上長尾)は「日ごろの練習の成果を出せました。子どもたちの喜ぶ笑顔を見ることができて本当によかったです」と満面の笑顔で話していました。

園児たちの願いをのせて

智頭急行で七夕列車

7月2日から、智頭急行が七夕列車を運行しました。これは七夕の雰囲気と夏の涼を楽しんでもらおうと企画されたもの。上郡から智頭間を走る普通列車4両の車内に、沿線町村の幼稚園・保育園の園児たちが願い事を書いた色とりどりの短冊と七夕飾りが取り付けられ、車内を盛り上げました。

町内では、マリア幼稚園と佐用・長谷・石井・江川・上月・久崎保育園の園児たち76人の短冊が飾られていました。

なおこの列車は7月8日まで、沿線の子どものたちの願いを乗せて運行されました。



智頭急行の
車内のようす

農業の価値を体感して

佐用小・佐用高・ほほえみ会

佐用小3年生44人と佐用高校農業科2年生20人、生活研究グループ「ほほえみ会」の協働で6月25日、白大豆の苗植えが行われました。この事業は同小の総合学習に一環。特産農産物である「ゆめさよ」を育て、子どもたちが農業の価値を知ることがねらいです。

参加した児童たちは、高校生の指導を受けながら、同高校所有の3畝の畑に「千鳥植え」で丁寧に植えていました。

同グループ代表の井口美子さん（口長谷）は「収穫と加工を通じて、農業の価値、地域のほこりを感じてほしい」と笑顔で話していました。



苗植えを楽しむ児童と生徒たち

国土交通大臣賞を受賞

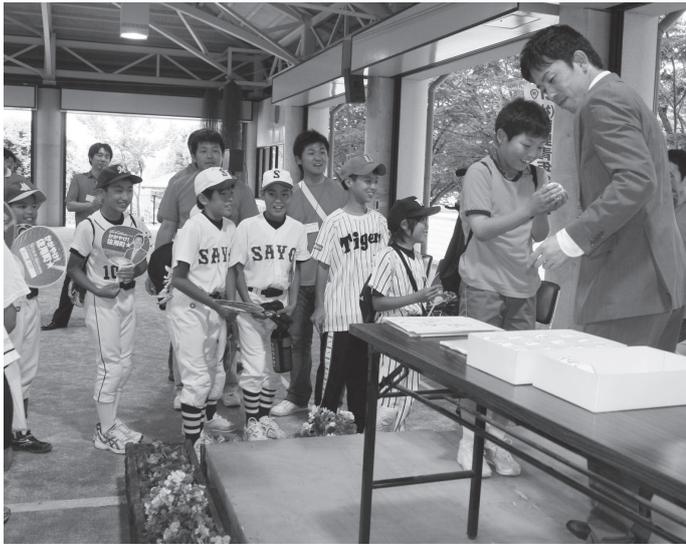
平福地域から2団体

平福の歴史や文化を生かした地域づくりに取り組む「平福文化と観光の会」（会長：原田昇さん（南新町））と「郷土を考える会」（代表：盛崎一夫さん（平福中町））が、このほど、まちづくり功労者として国土交通大臣賞を受賞しました。両団体は、3月にも県知事から「人間サイズのまちづくり賞」を受賞したばかり。これまでの長年の取り組みが評価されました。

原田さんは「昭和51年からの熱意が認められました。今後も平福の歴史と文化を守っていききたい」と、また盛崎さんは「今年で会設立からちょうど20年。この節目に大きな賞をいただき本当にうれしい」と受賞の喜びを語っていました。



7月2日、町長へ受賞報告に訪れた盛崎さん（左）と原田さん（右）



サインボールを配る赤星さん（右）とうれしそうな子どもたち

子どもたち元気になって

龍野青年会議所が復興イベント

7月11日、元阪神タイガースの赤星憲広さんを招いての復興イベントが、ひまわりドームで開催されました。このイベントは龍野青年会議所主催で行われたもの。あこがれの赤星さんを目見ようと、町内の親子約400人が会場に詰めかけました。

内容は、赤星さんの野球人生を語るトークショーのほか、子どもたちからの質問に答える時間が設けられ、子どもたちは楽しいひとときをすごしました。

本イベント実行委員長の西川功一さん（たつの市）は「佐用町の子どもたちの元気さを見てとてもうれしかった。逆に元気をもらいました」と笑顔で話していました。



久崎集落を案内する井口さん（中央）

自らの被災体験を伝える

久崎商店会

昨年8月の豪雨で大きな被害を受けた久崎地域の久崎商店会が、自らの被災体験や復興状況を発信する取り組みを始めました。7月13日、同会会長の井口覚さんが、初めてとなる福知山市民生委員・児童委員協議会21人の皆さんを受け入れ、当時の状況などを説明しながら現地を歩きました。

福知山市は、平成16年の台風23号で大きな被害を受けただけに、研修に訪れた皆さんは、井口さんのお話を熱心に聴いていました。

その後、久崎地区センターで、佐用町民生委員児童委員協議会会長の大江秀謙さん（船越）さんを変えて、復旧状況などを確認しました。



昨年の災害跡をカメラで撮影する子どもたち

災害に強い集落づくり

福沢集落

福沢集落では、子どもたちの目線も取り入れた防災マップを作ろうと取り組みを始めました。7月20日、集落内の小学生7人と保護者、また集落役員の皆さんで集落内を歩き、危険箇所などの確認を行いました。

福沢集落では、合併前から独自の防災マップがありました。しかし、地震や昨年8月の大規模な災害に対応していなかったため、集落内の状況を再確認し、従来のマップを拡充しようと取り組まれているものです。

子どもたちは炎天下の中、自治会長の木村政照さんなどから説明を聞きながら、写真撮影などを行っていました。

小さな小さな音楽会
新谷のり子コンサート

復興に向かう佐用町と被災した皆さんを応援するとともに、平和を願う気持ちを込めて、「フランシーヌの場合」などのヒット曲や、被災地や戦火でのボランティア活動などで有名な新谷のり子さんのコンサートが開催されます。

入場は新谷のり子さんのご協力で無料です。ただし座席数に限りがありますので、必ず予約してください。

日時 8月11日 **水**
 開演 午後6時30分～

場所 **カトリック佐用教会**
 佐用マリア幼稚園横

曲目 (予定)

- ・フランシーヌの場合
- ・死んだ男の残したもの
- ・イマジン
- ・さとうきび畑

■お問い合わせ・ご予約
 佐用マリア幼稚園 ☎82-2147

第7回
スピカ 夢 コンサート

もう一度聴いてみたい、もう一度演奏したい。そんな思いを一つにした企画がこのコンサートです。趣旨に賛同いただいた2組が出演します。

日時 8月22日 **日**
 開演 午後2時～

場所 スターシャワーの森音楽堂
スピカホール

第1部 ピアノ独奏【生誕200年を祝って】

出演者 友定純子さん (小野市)
メッセージ (抜粋) 今年はショパン・シューマン生誕200年。私の大好きな曲を、憧れのスピカホールで演奏できるのが楽しみです。

第2部 ソプラノ独奏【音楽のよろこび】

出演者 金澤由布子さん (ソプラノ・姫路市在住)
 畠 彩子さん (ピアノ・加古川市在住)
メッセージ (抜粋) 昨年は佐用をはじめ周辺地域で甚大な被害があり、阪神・淡路大震災の経験を思い出しました。一瞬でも日常から離れられる時間を持ってもらえるような演奏をしたいと思います。

■入場料 一般500円 (当日200円増)
問 スピカホール ☎82-0595

町内各地の **納涼夏祭り**

悪天候の場合は、中止する場合があります。警備員の指示には従い、ごみは必ず持ち帰りましょう。

開催日	名称	場所や内容など
8月8日 (日)	石井地区納涼祭	・石井体育館周辺 午後6時～ ・夜店、お楽しみ抽選など
8月14日 (土)	平福夏祭り	・模擬店 (午後6時30分～午後9時/智頭急行『平福駅』前) ・花火大会 (午後7時30分～/約200発)
	長谷地域ふるさと祭り	・ふれあい長谷グラウンド 午後7時～ ・足半踊り、夜店、お楽しみ抽選など
	海内地区納涼ふるさと祭り	・みうち若杉館グラウンド 午後7時～ ・夜店、お楽しみ抽選など
8月15日 (日)	佐用ふるさと納涼夏祭り	・夜店 (午後5時30分～午後9時30分 歩行者天国/佐用商店街) ・漫才とパフォーマンスショー (デンジャラスほか 午後6時～/役場前) ・アンパンマンショー (午後7時20分～/商工会前)
8月23日 (月)	田此日限地藏尊夏祭り	・夜店 (午後5時～歩行者天国/田此商店街) ・漫才 (ギャロップほか) ・パフォーマンスショー (午後7時～/日限地藏尊境内) ・ミニSL (午後6時～/田此ふれあい広場) ・花火大会 (午後8時30分～午後9時/約500発)



参加者募集



恋のアプローチ

ゴルフをテーマにした男女出会いの場です。あなたの恋のアプローチを応援します。

■日時 9月23日(祝)午前10時受付

■場所 ダイヤモンド佐用
カントリークラブ

現地に直接集合ください。姫新線・智頭線をご利用の場合は送迎します(要予約)。

■参加資格

20～40歳代の男女 各12人
男性 町内在住の独身のかた
女性 独身のかた(町内外不問)
※ゴルフ未経験者をご遠慮ください。

■参加費

女性5,000円 男性7,000円

■内容

ランチパーティー、パッティンググリーンでのカップインチャレンジ、ハーフプレーなど

■申込期限 8月31日(火)

■主催 佐用町こうのどりの会実行委員会

問 企画防災課復興企画室

☎82-2460

光都サマーフェス2010

琉球フェスタも同時開催 光都フリーマーケット

■日時 8月22日(日)

午前9時～午後2時 ※小雨決行

■場所 光都プラザ

問 光都プラザテナント会 ☎0791(58)2900

※午後2時以降

光都映画祭

入場無料です。16日(月)は休館日です。

■期間 8月13日(金)～22日(日)

■場所 光都プラザ・オプトピアシアター

■放映内容 「ハローキティ」「ジャングル大帝」

「悟空の大冒険」「スティッチ」など

※予告なく変更される場合があります。

上映時間はお問い合わせください。

問 企業庁播磨科学公園都市まちづくり事務所

☎0791(58)1115

●建物農機具共済

水害で約3億7、200万円を支払う

7月22日、南光文化センターで開かれた建物農機具共済推進協議会の総会で、提出案件すべて承認・議決されました。昨年度は水害で、建物共済金を3億6,264万5千円、農機具共済金を887万5千円を支払いました。

加入しましょう

建物短期共済

■火災共済

火災や落雷などの損害

の対象となる事故は、火災

☎82・0667

■総合共済

火災共済で補償できる災害にプラスして自然災害もカバーします。木造で年間1万9千4百円で、1千万円の補償があります。補償の対象となる事故は、火災

問 農林振興課農業共済推進室

農機具損害共済

1台10万円から1千万円の範囲内で新品価格まで加入できます。1万円当たり年間40円です。補償の対象となる事故は、転覆・接触・衝突・風水害・雪害などです。

を補償します。木造で年間6千8百円の掛け金で、一千万円の補償があります。補償の対象は火災・落雷・破裂・爆発・物体の落下などです。

共済に追加して風水害・雪害・土砂崩れ・地震などです。

家屋解体、新・増築する場合は連絡を

家屋評価にご協力を

未登記家屋の新・増築や取り壊しや、所有権移転をされた場合、それを把握することは困難です。課税漏れや誤って課税する恐れがありますので、必ずご連絡ください。

また、平成22年中に新・増築された家屋については、10月から12月にかけて家屋評価を行いますのでご協力をお願いします。早期に評価を希望の場合は、ご連絡ください。すでに登記が完了されたかた、または建築確認申請書を提出されたかたは、連絡は不要です。



問 税務課町税対策室 ☎82-0662

すべての町民の暮らしを応援します

としょかん



だより

佐用町立図書館
 佐用郡佐用町佐用2585 TEL 82-0874 FAX 82-0313
 メールアドレス toshokan@town.sayo.lg.jp
 ホームページ http://www.toshokan.town.sayo.lg.jp

開館10周年記念事業②
図書館夏休み体験教室

① 仮面舞踏会へ行こう!

昨年「きよだいなきよだいな絵を描こう!」で来ていただいた絵本作家の秋野亥左牟さんと、今年はいっしょに仮面をつくり、衣装のかわりに顔や体にペインティングして、仮面舞踏会を楽しみましょう。

参加するには、事前申し込みが必要です。

■日時 8月21日(土)
午後10時～午後3時

■場所 長谷体育館

■定員 先着30人

■対象 5歳～一般

■持参物 はさみ、カッター、鏡(顔全体がうつるもの)、牛乳パック1個、絵の具道具、お弁当、水筒

■注意事項

① 持ち物には必ず名前を書きましょう

② 汚れても良い服装で参加してください。

③ 熱中症に注意してください。

■参加費 無料

■おはなし会(申込不要)

■「小さい人(5歳以上)」

■日時 毎週日曜日

午後2時30分～午後3時

■8月のおはなし

「こぶたのバーナビ」

■「大きい人(小学3年生以上)」

■日時 不定期開催

■8月は絵本の会

としよかんボランティア

「あそびせ隊」のおはなし会

■日時 毎週土曜日

午後2時～午後2時30分

■場所 図書館おはなしコーナー

■対象 幼児・小学生

■申し込み 不要

※次回のおりがみ教室
10月23日(土)

図書館カレンダー

8月 August 葉月							9月 September 長月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28
29	30	31					29	30					

※色文字の日は休館日です。開館時間は午前10時～午後6時



ママプラザだより
ことばを育てる

ことばを話し始めるともつと話して欲しいと思ったり、同じ年ごろの子より遅いのかなと心配になったりと、いろんな気持ちになりますね。

ことばの発達は個人差が大きいので心配しすぎないように。大切なのは、ことばのやり取りを楽しむこと、ゆっくり育てることです。

乗りたいたいね」と、大人が子どもの行動や気持ちのことばにすることで「思いが通じるって楽しい」という感覚を身に付けていきます。子どもの「バ、バ」の中に込められている意味や気持ちを上手に汲み取り、話したいという気持ちを大切に育てましょう。

子育て支援センターの催し

子育て学習会(サマーサタ)

■開催日 8月22日(日)

午前10時～

草笛コンサート

■開催日 9月4日(土)

午前10時30分～

問 キラキラっ子ママプラザ

☎82・4108

ビスラっ子ママプラザ

☎86・1153

ひまわりっ子ママプラザ

☎78・0264

みかづきっ子ママプラザ

☎79・3788

新着図書案内

2010.6.16 ~ 2010.7.15 受け入れ分の一部



●大人向けの本

- アイデアはどこからやってくる?** 岩井俊雄/著 河出書房新社
- 良寛 行に生き行に死す** 立松和平/著 春秋社
- 兵庫歴史探訪ウォーキング** ー県内各地で気軽に楽しめるルートガイド
ペンハウス/著 メイツ出版
- 官僚村生活白書** 横田由美子/著 新潮社
- 日本経済の真実** ーある日、この国は破産します
辛坊治郎/著 幻冬舎
- 伝説の教授に学べ!** ー本当の経済学がわかる本
浜田宏一/著 東洋経済新報社
- 〈わかりやすさ〉の勉強法** 池上彰/著 講談社
- 子育てハッピーアドバイス大好き!が伝わるほめ方・叱り方**
明橋大二/著 1万年堂出版
- 先生、カエルが脱皮してその皮を食べています!**
(鳥取環境大学の森の人間動物行動学)
小林朋道/著 築地書館
- いい医者いい患者いい老後** ー「いのち」を見つめる二人旅
永六輔・内藤いづみ/著 佼成出版社
- これで安心!シロアリ対策** ーアナタの住まいは大丈夫?!
神谷忠弘/著 エクスナレッジ

- かんたん!愛情手作りタオルえほん・タオルおもちゃ**
いしかわまりこ/著 主婦と生活社
- 元気が出るえごま料理** ー油も実も葉もおいしい
田中敦子/著 農山漁村文化協会
- 知識ゼロからの野菜入門** 植木もも子/著 幻冬舎
- ビアトリクス・ポターが残した風景**
辻丸純一/写真 メディアファクトリー
- ワクワク!山陰フィッシングガイド**
ーはじめての人も楽しめる! 山陰中央新報社
- 終わらざる夏 上・下** 浅田次郎/著 集英社
- ▲**善人長屋** 西条奈加/著 新潮社
- ★**荒ぶる波濤** ー幕末の快男児・陸奥陽之助
津本陽/著 PHP研究所
- プラチナデータ** 東野圭吾/著 幻冬舎
- 老猿** 藤田宜永/著 講談社
- ええもんひとつ(とびきり屋見立て帖)** 山本兼一/著 文芸春秋
- 小福歳時記** 群ようこ/著 集英社
- オスカー・ワイルドとキャンドルライト殺人事件**
ジャイルズ・ブランドレス/著 国書刊行会

●子ども向けの本

- 知っておきたい情報社会の安全知識** 坂井修一/著 岩波書店
- たのしい科学実験 365日**
ー夏休みなどの自由研究のヒントがいっぱい!
E・リチャード・チャーチル/共著 飛鳥新社
- ライオンとねずみ** イソップ/(原作) 光村教育図書
- いいことがありました** もりやまみやこ/作 偕成社

▲は図書館と上月図書室に、★は図書館と南光図書室に、■は図書館と三日月図書室にあります。

8月は

佐用町人権推進月間

募集します 人権標語

今年も人権標語を募集します。テーマは自由です。温かい気持ちになれる標語をお待ちしております。

■**応募方法** 標語、住所、名前、年齢、電話番号を用紙に記入して、応募(持参、郵送、FAX、Eメール)してください。

■**応募締切** 9月10日(金)
■**選考** 選考委員会で5点程度の入賞作品を選考
■**表彰など** 入賞作品は、11月27日(土)に開催の「人権まちづくりフェスタささよう2010」で表彰し、記念品を贈ります。また、啓発資料などに使用します。
■**お問い合わせ・応募先**
〒679-1530-1
佐用町佐用2585
生涯学習課(月曜休館)

☎ 82・3336
FAX 82・0313
orihime@town.sayo.lg.jp
各支所でも受付けます。

上月・夏の映画会

「ブタがいた教室」を上映します。「ブタを飼って大きくなったら、みんなで食べよう」という約束で、子ブタを飼い始めた6年生の子どもたちが、卒業までの1年間、命と向き合った感動の実話です。ご家族おそろいで、ぜひご覧ください。

■**日時** 8月18日(水)
■**【昼の部】** 午前10時~
■**【夜の部】** 午後7時~
■**場所** 上月文化会館
■**入場料** 無料
■**問** 上月支所地域振興室
☎ 86・1210

国民健康保険

●更新をお忘れなく

限度額適用・標準負担額減額認定証

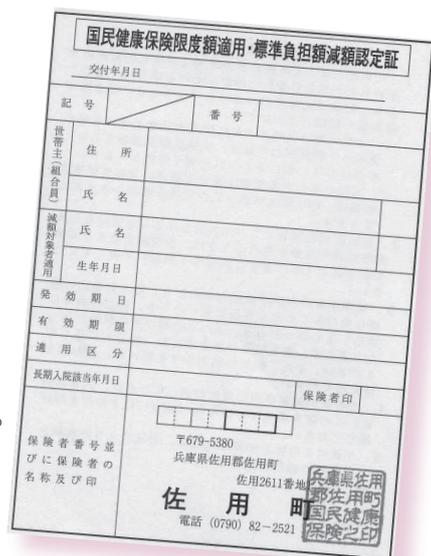
医療費の自己負担が高額になったとき、定められた自己限度額を超えた分は高額療養費として支給されます（ただし対象外費用あり）。

入院した場合の高額療養費は、病院で「限度額適用認定証」または「限度額適用・標準負担額減額認定証」を提示すると、窓口での支払い自己負担限度額までとなります。また、国民健康保険加入者全員と世帯主が住民税非課税の場合は、食事代の減額も受けられます。

外来や複数の医療機関への支払いで自己負担限度額を超える場合や認定証をお持ちでない場合は、後日申請すると支給されます。

認定証の有効期限は、8月1日から翌年7月31日まで。更新手続きや新規交付申請は、住民課、または各支所・出張所で受け付けています。被保険者証・印かんをご持参ください。

なお、国民健康保険税を滞納していると、交付が受けられない場合があります。



問 住民課年金・保険室 ☎ 82-0660

特定健康診査を受診できます

国民健康保険では、心臓病や糖尿病などの深刻な生活習慣病を引き起こす要因となるメタボリックシンドロームの予防のため、5月から各地域で集団による健康診査を実施してきました。しかし諸事情で受診できなかったかたを対象に、町内の医療機関で特定健康診査（個別健診）を実施しています。

国民健康保険加入の40～74歳のかたへ

されるかたは、医療機関への申込時にその旨お伝えください（費用は別途必要）。

② 集団健診を受診されたかたは、今年度は受診できません。

③ 受診には「特定健康診査受診券」が必要です。

- **内容** 問診・身体計測・血圧測定・尿検査・生化学検査・腹囲測定・医師の判断による追加項目（眼底・心電図・貧血検査）
- **受診対象者** 国民健康保険に加入の40～74歳のかた
- ※ 年齢は、健診受診日当日の年齢
- **受診料（個人負担）** 1,500円

- **実施期間** 12月31日（金）まで
- **申し込み** 下記の医療機関へ直接お申し込みください。
- **その他**

① 併せてがん検診の受診を希望

実施医療機関

医療機関名	電話番号	実施項目
佐用中央病院	82-2154	特定健診・がん検診
佐用共立病院	82-2321	特定健診・がん検診
岡本医院	88-0605	特定健診
岡尾医院	78-0034	特定健診
尾崎内科医院	77-0447	特定健診
尾崎病院	77-0221	特定健診・がん検診
長田クリニック	88-1111	特定健診
織田医院	79-2206	特定健診

問 住民課年金・保険室

☎ 82-0660

行事カレンダー

■デイ・ケア(精神障がい者社会復帰訓練事業)

8月10日(火)

8月26日(木)

午後1時30分～午後3時30分

※場所は佐用町保健センター

問 健康福祉課健康増進室 ☎87-8020

■こころのケア相談日(要予約)

8月20日(金)

午後1時～午後2時

■若者の心と体の相談(要予約)

8月20日(金)

午後1時～午後3時

※場所は龍野健康福祉事務所

問 龍野健康福祉事務所

☎0791(63)5142

赤ちゃん和妈妈の行事

★1歳6か月児健診

(平成20年12月～平成21年1月生まれ)

8月17日(火) 午後1時～

★ヨチヨチ健康相談(平成21年8月生まれ)

8月20日(金) 午後1時30分～

★4か月児健診(平成22年4月生まれ)

8月23日(月) 午後1時30分～

★すくすく健康相談離乳食教室

(平成22年1月～2月生まれ)

9月2日(木) 午前10時～

★0歳児クラス(2か月～1歳未満)

9月6日(月)

2か月～6か月児 午前10時～午前11時30分

7か月～1歳未満児 午前10時30分～正午

★すてきなママになるための教室(妊婦)

9月6日(月) 午前10時～

いずれも場所はさよう子育て支援センター

健康だより



子宮がん検診をうけましょう

子宮がんは、一般には高齢者に多いとされるがんですが、30歳～50歳代が過半数を占め、子宮頸がんは20歳代の発症も増えています。

■子宮がんの種類と傾向

【子宮頸がん】 子宮の入口である「子宮頸部」にできるがん。20歳～40歳代前半の若い年齢層で増加。最近では、卵巣に転移しやすいタイプが増えています。

【子宮体がん】 子宮の奥にある「子宮体部」にできるがん。中高年で、特に高齢者でリンパ節に転移しやすいタイプが増えています。

■子宮がんの症状

【子宮頸がん】 ごく初期には何の症状もありません。早期に多い症状はおりものや不正性器出血などで、進行すると腰痛、

下腹部の痛み足の痛みが現れ、尿意や便秘を何度も感じるようになります。

【子宮体がん】 子宮体がんの約9割に不正性器出血が見られます。閉経後、少量ずつ長期にわたる出血がある場合は、早めに受診しましょう。

■子宮頸がんの検査方法

子宮頸部の表面から細胞を取って調べます。ほぼ痛みはありません。※体部の検査は少しの痛みを伴います。

■子宮頸がんは検診で予防

子宮頸がんは、早期発見すれば治癒率のかなり高い病気です。20歳以降は子宮頸がんの検診を受けましょう。

■検診の結果が「要精密検査」であれば

必ず早めに専門医を受診し、精密検査を受けましょう。

■佐用チャンネルの放送更新日は、8月13日（金）・27日（金）です。

提供を求めるため、24時間対応の「APEC・極左110番」を開設しました。

■開設期間 APEC警備終了まで

■情報提供は次の電話番号へ
☎078(371)2110

第3土曜日不燃物受入業務 8月以降休止します

ガレキ・金属類の不燃物は搬入量の減少のため、第3土曜日の受け入れを8月以降休止させていただきます。

クリーンセンターへの直接搬入は「可燃物」「不燃物」とともに、月曜日から金曜日の、午前9時から午後4時30分の受付となります（土曜日・日曜日は休業）。

なお、月～金曜日の間の祝祭日は、直接搬入の受付・収集は今までどおり行います。

問 佐用クリーンセンター
☎82-0293

参議院議員通常選挙 開票結果（兵庫選挙区のみ）

■得票数（届出順・敬称略）

井坂信彦	966票
末松信介	3,790票
堀内照文	965票
水岡俊一	2,632票
高木義彰	86票
吉田愛弥	535票
三橋真記	1,404票

■当日有権者数
16,745人

■投票者総数
11,188人

■投票率 66.81%

問 佐用町選挙管理委員会
☎82-2549（総務課）

人のうごき

7月20日現在（ ）内は前月比

人口 20,061人（△27）
男 9,559人（△17）
女 10,502人（△10）
世帯数 7,198戸（ ）

7月中の移動
出生 6人 死亡 30人
転入 30人 転出 33人

お誕生おめでとう

6月21日から7月20日届出分 敬称略

名 前 保護者 自治会

個人情報のため非掲載

お悔やみ申し上げます

6月21日から7月20日届出分 敬称略

名 前 年齢 自治会

個人情報のため非掲載

2010 国勢調査 平成22年10月1日



9月23日（祝）から国勢調査員がうかがいます
総務省統計局

ちょうみんカレンダー

8月上旬～9月上旬

月日	曜日	内 容	場 所	時 間
8/9	月	台風第9号災害 佐用町追悼式	さよう文化情報センター	10:30～
		復興ステージ しあわせ運べるように	神姫バス佐用営業所跡地	18:00～
11	水	福祉相談 新谷のり子コンサート	南光地域福祉センター 16券をご覧ください。	13:30～16:00
12	木	高年大学南光教室	南光文化センター	10:30～
17	火	高年大学三日月教室 高年大学上月教室	三日月文化センター 上月文化会館	10:00～ 10:00～
18	水	行政相談	佐用町保健センター 上月支所 南光文化センター 三日月支所	13:00～15:00 9:00～11:00
19	木	高年大学佐用教室	さよう文化情報センター	10:00～
22	日	スピカ夢コンサート	16券をご覧ください	
25	水	弁護士相談 (社会福祉協議会に要予約)	佐用町地域福祉センター	13:00～15:30
29	日	佐用町感謝の集い	11券をご覧ください。	



今月の納税

●町県民税(普通徴収)第2期分

納期限 **8月31日 火**

口座振替日は8月31日(火)です
納税は納期限までに!

問 税務課収納管理室
☎82-0662

●国保税(普通徴収)第2期分

●介護保険料(普通徴収)第2期分

●後期高齢者医療制度(普通徴収)第2期分

納期限 **8月31日 火**

口座振替日は8月31日(火)です
納税は納期限までに!

問 住民課年金・保険室
☎82-0660

参加者募集 救命講習会

消防署では、心肺そ生法とAED、止血法の講習会を行います。

■日時 9月10日(金)
午後1時30分～午後4時30分

■場所 佐用町消防署3階
コミュニティ防災センター

■受講料 無料

■募集人員 30人

※定員になり次第締切

■募集期間 9月8日(水)まで

問 消防署 82-3872

農業振興地域整備計画の 農用区域の見直しについて

本年度、町の農業振興地域整備計画の変更を予定しています。この変更に伴い、農地転用を行う場合に制約のある農用区域(農業の振興を図ることが必要であると定めた区域)に、①住宅を建てたい②農業用倉庫を建てたい③車庫を建てたい④その他、農地転用をしたいといった具体的な計画があるかたは、農用地の除外協議を受け付けますので、8月31日(火)までに申し出てください。

なお、申し出が有れば除外できるとは限りませんが、今回の見直しを行うと、原則5年間は農用区域からの除外を行うことができませんのでご注意願います。

問 農林振興課農林水産振興室
☎82-0667

悩み相談室

聴覚障がいがあるかた、そのご家族、関係者を対象として、さまざまな相談(結婚、育児、職業、教育など)に応じます。

■日時 9月21日(火)
午前10時～午後4時
(正午～午後1時は除く)

■場所 佐用町役場2階会議室

■相談員 兵庫県立聴覚障がい者情報センター相談員・手話通訳者

問 兵庫県立聴覚障がい者情報センター
☎078(805)4175
FAX 078(805)4192

問 健康福祉課社会福祉推進室

☎82-0661

FAX 82-0146

「CD 絵画自分史・お茶の間美術館」制作完成記念

合同作品展を開催

ユネスコは「物語自分史」に続き、郡内の絵画愛好者16人の作品約600点を収録した「CD 絵画自分史・お茶の間美術館」を制作しました。これを記念してこのたび、合同作品展を開催いたします。

■日時

9月1日(水)
午後1時～午後6時

9月2日(木)
午前9時～午後6時

9月3日(金)
午前9時～午後3時

■場所 さよう文化情報センター

■CD(一枚千円)の販売は会場で行います。

■協賛事業「(神の使い)白鹿」作品展

播磨科学公園都市で飲食店経営の杉本俊博氏(兵庫県写真作家協会所属)が、2か月近くをかけて「白鹿」撮影に成功した作品をこのたび、ユネスコに協賛して公開、販売していただけることになりました。購入申し込みを受け付け、別途お渡します。

問 佐用郡ユネスコ協会

清水樹さん ☎090(4498)3441

久保稔さん ☎090(8658)4043

APEC 首脳会議開催に伴い 情報収集機関を設置

県警本部では、APEC 首脳会議などの開催にともない、県民の皆さんから幅広い情報



ベニデス ^{セリオ} 世李和ちゃん

山川に囲まれた農道を目をキラキラさせながら歩きます。マイペースに立ち止まっては空を見上げ、土や草を相手に長い間座り込んだり。石井の自然のように大きく優しく育ててね。



乃井野にある日岡八幡神社は平安時代のころ、今の三日月地域にあった荘園の領主である石清水八幡宮（現・京都府八幡市）の播磨別宮として勧請したのが始まりと伝えられています。宮は末社・氏子も多く、平安時代・中世を通じて長らく栄えていたようですが、安土・桃山時代ごろに衰微し、さらには江戸時代の寛永元（1624）年に野焼きの火が引火して、本殿を始め残らず焼失してしまったそうです。

しばらくは仮殿を建てていましたが、神主の船曳氏は乃井野の大庄屋である井上氏を願主として、広山・三日月・東本郷・志文・春哉・真宗の各村庄屋たちと相談し、寄付を募って宮を再建するために動き始めました。

こうして火事から32年後、明暦二（1656）年になって現在みられる本殿が完成しました。なお棟梁として姫路藤原喜左衛門の名が棟札に残っています。

その後元禄十（1697）年になって森長俊が津山から三日月に移ると、境内の一部を屋敷地にしたことで八幡神社を信仰したとされ、本殿の修理を始め透塀・鳥居・神楽殿・石垣練塀・石段・隨身門・神倉・灯笼・御輿などが寄進され、拝殿の建て直し、高良神社の建立なども行われたようです。さらに明治の廃藩まで本殿・透塀・鳥居に関しては森家が一切を賄っていました。

日岡八幡の本殿は三間社流造り・千鳥破風・軒唐破風といった、近世神社本殿建築の特徴をよくあらわし、また細部意匠にも優れていることから、町の貴重な文化財として昭和63年に町指定建造物に指定されました。

（参考文献：三日月町史ほか）



見えないものが見えてくる

スプリング エイト エックスエフイーエル
Spring-8 / **XFEL**

SPring-8 キャンパス内に建設中のX線自由電子レーザー（XFEL）施設の実験研究棟が5月に完成しました。現在は棟内にある実験ホールの整備が進んでいます。加速器棟、光源棟を経て作り出されたXFELは実験ホールに運ばれ、さまざまな実験が行われます。



全長700mに及ぶXFEL施設が完成し、残された内部機器の設置などの最終段階に入っています。7月20日からXFEL（加速器棟のみ）もSPring-8で行っている一般見学のルートに入りました。

SPring-8 見学ツアー申し込み受付中

予約は公式ホームページ（http://www.spring8.or.jp/ja/about_us/site_tour）から可能です。

■見学についてのお問い合わせ

高輝度光科学研究センター広報室

☎0791(58)2785

光クイズ

XFELに使われているネオジム磁石。文房具として使用される磁石の100倍以上強力なこの磁石は、身近なところでも使用されています。ネオジム磁石が使われていない製品はどれ？

- (1) ヘッドホン
- (2) ハイブリッド車
- (3) 液晶ディスプレイ

はがき・FAX・メールで住所、名前、年齢、電話番号、答えを記入し、役場広報室へお送りください。正解者から3人に景品をお送りします。

編集後記

◆被災を乗り越え、日本一に輝いた刀匠の高見さん（本紙10頁）を取材した際、被災後の話で、高見さんは当時を思い出し、涙ぐみました。私も当時の報道記事などにふれると、高見さんと同じ思いになります。◆昨年の集中豪雨翌日の夕方、役場周辺で泥かき作業をしているとき、空に虹がかかりました。通りすがりのかたが「希望の虹」とつぶやきました。◆あの日から一年を迎える今月。つらく悲しい経験を決して忘れることなく、真に災害に強いまちをめざすこと。そのことが「希望の虹」だと思えます。④